

別紙 7

【薬効分類】 6 1 7 主としてカビに作用するもの

【医薬品名】 ポサコナゾール

【措置内容】 以下のように使用上の注意を改めること。

下線は変更箇所

現行	改訂案										
<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメトリン、エルゴメトリン、シンバスタチン、アトルバスタチン、ピモジド、キニジン、ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〕、スポレキサント、フィネレノン、ルラシドン塩酸塩、ブロナンセリン、トリアゾラム、リバーロキサバンを投与中の患者</p>	<p>2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）</p> <p>エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミン、メチルエルゴメトリン、エルゴメトリン、シンバスタチン、アトルバスタチン、ピモジド、キニジン、ベネトクラクス〔再発又は難治性の慢性リンパ性白血病（小リンパ球性リンパ腫を含む）の用量漸増期〕、スポレキサント、<u>フィネレノン、アゼルニジピン、オルメサルタン</u> <u>メドキシミル・アゼルニジピン</u>、ルラシドン塩酸塩、ブロナンセリン、トリアゾラム、リバーロキサバンを投与中の患者</p>										
<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p>	<p>10. 相互作用</p> <p>10.1 併用禁忌（併用しないこと）</p>										
<p>（新設）</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>薬剤名等</th> <th>臨床症状・措置方法</th> <th>機序・危険因子</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>アゼルニジピン</u></td> <td rowspan="3"><u>アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。</u></td> <td rowspan="3">ポサコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の</td> </tr> <tr> <td><u>オルメサルタン</u></td> </tr> <tr> <td><u>メドキシミル・ア</u></td> </tr> </tbody> </table>	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	<u>アゼルニジピン</u>	<u>アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。</u>	ポサコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の	<u>オルメサルタン</u>	<u>メドキシミル・ア</u>		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子									
<u>アゼルニジピン</u>	<u>アゼルニジピンの作用を増強させるおそれがある。</u>	ポサコナゾールの併用により、CYP3A4が阻害され、これらの薬剤の									
<u>オルメサルタン</u>											
<u>メドキシミル・ア</u>											

	<u>ゼルニジピン</u>		血漿中濃度が上昇すると予測される。
--	---------------	--	-------------------